※※※

今日の力

※※※

2020 年 7 月 13 日～7 月 19 日

翻訳　　ハンコック・真由美

編集　　野口　恵美子

この冊子の聖句は，新改訳聖書第三版を使用しています。

御 茶 の 水 キ リ ス ト の 教 会

７月１３日（月）

訓練し、そして、慰める神

聖書朗読　イザヤ４０：１～５
　主がその民の傷を包み、その打たれた傷を癒される日に…　　イザヤ３０：２６

　彼女は自分を非常に強く責めていました。自分を自制できなくなってしまい家族にひどいことを言ってしまったからでした。このストレスに満ちた世の中で、崩れかかっている家庭の中で、キリストのような人になろうと頑張って生きてきました。彼女は自分の聖書クラスの先生に思いの丈をメールに書きました。
　その先生はこういう返信をしました。「その怒りの言い訳をしようとはしないけれど、そういう状況ではあなたと同じことをする人は多いのではないだろうか。神様はあなたがどれほど自制を失いたくなかったかご存知です。あなたの心が綺麗なことは私も知っています。あなたは心から家族に謝りました。それだけで十分にキリストを伝えていると思います。神様はまた私たちの失敗さえも用いてそれを善い事のために使う事のできる方です。あなたは神様から反省を促されていると感じたようですが、神様からの赦しと慰めも感じたことと思います。」
　私の両親は健全なしつけを信じていました。（今は神様に感謝しています。）しかし、叱られるたびに、叱ることが済んだという事と私たち子供をどんなに大切に思っているかを話してくれました。同じように、神様はイザヤにイスラエルの民に「優しく語りかけ」「慰めよ」とおっしゃったのです。
　彼女は罪の償いをしました。そして、神様は確かに彼女との関係を回復してくださった事でしょう。

讃美歌　２９１
祈　り　親愛なる父よ。あなた様は私たちを愛し大切に思ってくださるので、私たちを訓練してくださるのは善い事のためである、とわかることができますように。あなたは、私たちを訓練することを喜んではいません。私たちとの関係の回復を望んでおられます。
　イエス様のお名前を通して御前にお捧げいたします。アーメン。

Ｇ・Ｂ・シェルバーン３世
テキサス州　サウスヒューストン

７月１４日（火）

神様の証人としての私

聖書朗読　イザヤ４３：１～１３
…および地の果てにまで、わたしの証人となります。　　使徒１：８

宣教は「使徒の働き」から始まったのではありません。神様がこの世界をお造りになられた時からなさりたいことは、神様の子供らが救いの恵みの世界を見て証人となり、神の国へ招待をするということです。これはイスラエルの民に向けられていました。残念なことに、彼らはそれを選びませんでした。

人類が始まりの時から問いかけてきたことは、「人生の目的とは何か？」です。その答えを私たちはずっと探し続けています。聖書には人類の真の生きる意味が明確に書かれています。私たちは神の聖なる創造物として、神様に似せて造られました。神様ただお一人だけが人々を救うことがおできになるということの証人となるために招かれたのです。

救い。それにはどういう意味があるのでしょうか。神のみが私たちが終わる事のない存在になるように導くことが可能であるということです。この世には人生の意味について語ることに溢れています。物質主義、自己中心主義などそのほかの「…主義」真実な話は一つです。そして、私たちは「私は神である。私の他に救い主はいない」という基本的な真実の物語の証人として招かれているのです。

讃美歌　５２９
祈　り　お父様。今日あなた様の忠実な証人とならせてください。私たちが出会う人たちがただイエス様にのみ真実の命を見いだすことができるのだと分かるように、私の人生を通してあなた様の真実を体現することができますように。真実な神であり、救い主であられるあなた様をほめたたえます。
イエス様のお名前によって。アーメン。

アール・ラベンダー
テネシー州　ブレントウッド

７月１５日（水）

愛　こ　そ　は　全　て

聖書朗読　イザヤ書４４：１～８
あなたを造り、あなたを母の胎内にいる時から形造って、あなたを助ける主はこう仰せられる。「恐るな、わたしのしもべ…　　イザヤ書４４：２

恐れる。気をつけていないと、私たちは恐れに支配されてしまいます。私たちと神様の間に恐れが入り込むこともありますし、私たちと他の人の間に入り込むこともあります。恐れは、不安や身勝手さから出るのです。恐れに勝てるのは愛です！私たちの言動の動機付けは、恐れか、愛です。利己主義か、無私無欲かです。

私たちは、恐れている時に目を向けるのは自分自身のことだけです。愛がある時は自分の周りの人たちに目を向けることができます。永遠に真実なる神様に焦点を当てれば、自分の能力を超えたことができます。パウロは主は近くにいらっしゃることと天国を思って生きることを思い出させてくれました。（ピリピ４：４～８）私たちがこのようにすれば､利己主義の者から無私無欲の者に変えていただけるのです。「恐れるな。」という言葉は、聖書に３６６回出てきます。３６６回の意味は、一年分の１日１回と将来に向けての１日分ということになります。でも、安心してください。愛は恐れに勝ったのですから。

讃美歌　１６３
祈　り　天のお父様。私に必要なのはあなた様お一人です。イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

サンデー・ドリティ
カルフォルニア州　マリブ

７月１６日（木）

ママ、きょうかいって なあに？

聖書朗読　エレミヤ２：１～７

わたしは…わたしへの従順を覚えている。しかし、わたしはあなたがたを、実り豊かな地に連れて入り、その良い実を食べさせた。ところが、あなたがたは、入って来て、わたしの国を汚し、わたしのゆずりの地を忌みきらうべきものにした。

エレミヤ２：２、７

本日の聖書朗読で、エレミヤは、イスラエルが従順であったこと、良いことで始まったのに最後には忌み嫌うべき者になるという悲しい終わり方をしたということを覚えていると言っています。私たちは、「しかし今は」という後悔する結果になっている時に「それを覚えている」ことがあります。

ある日曜日の朝のことです。教会に来た人たちに挨拶をしていると、昔の教え子の顔を見かけました。大歓迎しました！彼女の子どもが保育園に行き始め、友だちが教会の話をしたそうです。子供はその日 家に帰って来てこう聞いたそうです。「ママ、きょうかいって なあに？」教え子は昔の信仰を失ってしまったことを自覚し当惑し後悔しました。色んな言い訳をしながら教会に行くのを軽視し、行くのを止めてしまっていたのでした。彼女はこの信仰の習慣を自分の子供に継承していかないと、教会 礼拝 神の人たちを知る機会をなくし、子供たちが遺産を受け継げなくなってしまうと思いました。彼女の娘がスキップして教会学校の先生のもとに行き礼拝に出席するのを、私はどんなに嬉しい思いで見ていたことでしょう。

私たちの仲間が「きょうかいって なあに？」と聞かなければならない状態になり、信仰の遺産と神の人たちとの安らぎを捨てていませんか？しかし、その時は、そういう人は、「きょうかいって なあに？」と聞けばいいのです。

讃美歌　２７０

祈　り　親愛なる主よ。私の人生が、あなたの霊で満たされ証となりますように導いてください。あなた様が私の人生で出会わせてくださった人たちが、私たちを通して礼拝とあなたにお仕えする喜びと祝福を味わえますように。

イエス様のお名前で。アーメン。

スーザン・ギボニー
カルフォルニア州　マリブ

７月１７日（金）

新　し　い　名　前　の　神

聖書朗読　ホセア２：１６～２３

あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前は憐れみを受けない者であったのに、あわれみを受けた者です。　　Ｉペテロ２：１０

名前について人は色々語ります。自分の名前が嫌いな人もいます。変わった名前だったり、発音しづらい名前だったりします。（私の姓もそうです）名前の由来が嫌なこともあります。いづれにしても、それぞれの名前にはそれぞれのストーリーがあるのです。

ホセアが子供たちに聞かせる名前の由来のストーリーは、実にユニークです。ホセア書１章４節～１０節によりますと、神様はそれぞれの子供たちに特別な名前をつけてくださったことが書いてあります。イズレエル（血の戦いの平原）、ロ・ルハマ（愛されていない）ロ・アンミ（私の民でない）。

神様は、イスラエルの民に彼らの罪についてのメッセージを送るためにそのような名前をつけました。ホセアが自分の子供たちを食卓に呼ぶ時、毎回イスラエルの地が荒れていること、イスラエルはもはや愛されていないこと、イスラエルは神の民でないこという預言的なメッセージを発することとなったのです。神様はそのうちイスラエルを 正常な状態に戻してくださり、ロ・ルハマに愛を示され、ロ・アンミをご自分のものとされ、イズレエル（神は蒔く）と共に新しい種を蒔くと明らかにされました。彼らの名前がどういう名前であれ、神様は人々と共に素晴らしいことをされています。

讃美歌　主はすばらしい

祈　り　親愛なる神様。私たちに愛を示してくださり、あなたの民をしてくださりありがとうございます。あなたの働きを豊かに実らせることができるように私たちの中に種を蒔いてください。

全てに勝る名であるイエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

フィリピン・セブ
ピーター・カリエガ

７月１８日（土）

家　　出

聖書朗読　ヨナ１章

私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへ逃れましょう。　詩篇１３９：７

子供の時もしくはティーンエージャーの時に家出をしたことはありますか。何から逃げたのでしょうか。やりたくないことからでしたか。不公正な罰からでしたか。批判されたからでしたか。どれくらいで家に戻りましたか。もしかしたら、戻っていないかもしれませんね。家出は全くいけないことではありません。何から逃げているかによります。ヨナの場合は、その結果は一次的に悲惨なものとなりました。なぜでしょうか。それは、彼が神様から逃げていたからです。ヨナは神様からの命令を間違っていることだと考えました。しかし、神様は最終的には神様はそれを成し遂げる力をヨナに与えてくださいました。一時の間ヨナには、悲惨なことが起こりました。彼は悪から、誘惑から逃げていたのでした。その結果として彼は牢に入れられ何年間も忘れられていました。しかし、ヨナは神様を忘れてはいませんでした！

神様は、どう悲劇的な環境を祝福された良いものに変えるかをご存知です。ただ神様だけがニネベでの悔い改めを導いてくださることができました。しかも神様は家出という出来事を用いてそうしてくださったのです。ただ神様だけが、飢餓から人々を守ることができましたし、それは逃げるということを用いてそうしてくださったのです。あなたは、何から逃げているのでしょうか。注意して見ていてください。神様はあなたの逃げるという出来事を通して、悲劇を永遠の善きものに変えてくださるかもしれません。

讃美歌　２６９

祈　り　おお主よ。正しい方向に私を導いてください。悪から私を遠ざけてください。私はニネベに行くのを恐れていますが、もしそれがあなたの命令ならあなたの目的と導きで私を飲み込むように包んでください。帰る事の出来る足がありますことを感謝します。

イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

ジェス・ピターソン
テキサス州　ラボック

７月１９日（日）

そんな彼にも関わらず！

聖書朗読　ヨナ書２章

主よ　あなたがもし、不義に目を留められるなら、主よ、誰が御前に立ちえましょう。　詩篇１３０：３

ヨナ書は、大部分がヨナ自身のことについて書かれています。彼の物語は魅力的で、重いメッセージを含んでいます。大きな古代都市の一つが地球上から消えてしまう危機に面していました。しかし、初めから最後まで物語の中心はヨナです。そして、それは見た目に良い話ではありませんでした。

やる気のない預言者が存在したなら、それはヨナでした。人間としてというよりも説教者として優れていたのでしょう。彼は、不従順で自己中心で狭量でお高く止まった独善者で皮肉屋として考えられていました。それでも神様はそんな彼にも関わらず、神様の御用のためにお使いになりました。信じがたいことです。しかし、その時、神様がお使いになろうとされたのは不完全な人たちだけでした。

詩人はこのことを考え、「あなたがもし 不義に目を留められるなら、主よ、誰が御前に立てるでしょう」と書いたのです。ダビデは主の前に立つことができませんでした。アブラハムも、モーセも、バルナバもです。ペテロも決して主の前には立てませんでした。あの偉大なパウロでさえもそうでした。神の戦士たちは全員が、ヒビの入った鎧を着ていましたし、彼らのアキレス腱は脆弱でした。「それでは、私たちの誇りはどこにあるのでしょうか。それはすでに取り除かれました」（ローマ３：２７）。

讃美歌　１６８

祈　り　義なる方でおられる父よ。あなた様は、不完全である私たちを使ってくださる恵み深いお方です。

イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

ロバート・W・ローレンス
ネバダ州　ヨーク